

【様式1】 平成28年度「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

市町村名	飛騨市	学校名	飛騨古城特別支援学校			
校長名	船渡千賀子	対象学年	全校	人数	30	人
活動名	地域で学ぶ		時間数	時間	継続年数	4年
題材	1 自然環境（山野・河川・動物・植物・その他） 2 歴史（出来事・史跡・先人・その他） 3 文化（芸能・芸術・民話・風習・その他） 4 地場産業（農業・水産業・伝統工芸・その他） ⑤ 地域との積極的な関わりをつくる活動等 6 その他（ ）		[ ] [ ] [ ] [ ] [ 飛騨市 ] [ ]			
複数年継続するための工夫改善	・事前の打ち合わせを詳細に行い、児童生徒のねらいの共通理解を図った。また、地域の方から児童生徒に直接評価の言葉を掛けていただくようにし、成功体験を積み重ねられるようにした。					
<p><b>1 ねらい</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で育ち、学び、卒業後に地域の中で共に笑顔で生きていく児童生徒の育成を目指す。</li> <li>・地域の人々に児童生徒の成長に関わっていただくことで、地域との絆を深め、「支え」・「支えられながら」『共に生きる地域づくり』を働きかけることを目指す。</li> </ul> <p><b>2 活動の概要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町中ふれあいジョブ（小高学年）：（隔週火曜日）公共施設の敷地の清掃活動を定期的に行ったり、花を植えたプランターを公共施設の玄関前に置かせてもらい水遣りに通ったりする。</li> <li>・町中ふれあいジョブ（中学部）：（隔週木曜日）商店で、商品の整理・整頓や準備の作業をしたり、市役所のフロアや玄関の清掃を行っている。</li> <li>・企業内作業学習（高等部）：（毎週水曜日）近隣の企業等に通勤（徒歩、一部タクシー利用）して現場での作業を行う。図書整理、育苗管理、乳製品の袋詰め作業、小売店での商品管理、作業所のパン販売補助などを行っている。</li> <li>・生活単元学習や自立活動の単元の中で、地域の人形劇団や地元産の蕎麦を打たれている方、地域の花（花菖蒲）を管理している方などを講師に迎え、体験を中心とする授業を行っている。</li> </ul> <p><b>3 地域住民との関わり、地域社会への貢献の様子</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通して定期的に地域に出かけて、活動する中で、小学部では、出会った地域の方に挨拶をしたり、言葉を掛けてもらったりし、基礎的なコミュニケーション力や働くことへの意欲・関心を高めることができています。中学部では、地域の方やお客様との場面に応じたコミュニケーション力や働くことへの意欲・意識・興味を高めることができています。高等部では、地域の企業等の方々に理解を広げると共に、生徒が直接に指導を受けることができ、現場での経験をもとに自分を見つめ、職業適性を見極める機会となっている。年度当初には、企業内作業学習ネットワーク会議を実施し、受け入れ先の代表者に生徒の授業の様子を見ていただき、特性や配慮事項を知っていただいたり、生徒がお世話になる企業の方にあいさつをし、実習に向かう心構えをつくったりすることもできた。</li> <li>・今年度はじめて小学部の児童が、飛騨市の音楽会に参加し、地域の人形劇団の方に教えていただいた人形を操作して、音楽発表を行った。地域の同世代の児童の前で、同じようにステージ発表を行ったという経験は、児童たちの自信になっただけでなく、多くの参観者に大きな共感を得ることができた。</li> <li>・大規模小売店舗の協力をいただいて開く「写真展」では、児童生徒の授業で見せる様々な表情を見ていただき、多くの方から共感をいただいている。今年度は、2月に2ヶ所での開催を予定している。</li> </ul> <p><b>4 活動を通しての児童生徒の変容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「2」に挙げた活動のほかに、地域の方から「何かできることないやろか」という提案ではじめた、「夏まつり」「餅つき・花餅作り」「ジャガイモ収穫体験」といった行事、部活動では「茶華道体験」、月2回の「あいさつ運動」等、多くの機会をとらえて地域社会に出ていき、地域の方と接することで、多くの笑顔を見せられるようになり、臆することなく挨拶をしたり、逆に積極的に声を掛ける姿も見られたりするなど、自信をもってコミュニケーションを図ろうとする姿が多くみられる。</li> </ul>						